

## 第5学年学級活動(1)学習指導案

特別活動研究室

- 1 活動題 「笑顔いっぱいプロジェクト」  
学級集会 「何でもチャレンジ,笑顔いっぱい集会」

### 2 議題選定までの経過

2学期初めに,学級目標「男女仲良く 何にでもチャレンジし 協力し合い笑顔いっぱいのクラス」の達成に近づくために学級で取り組めることはないかアンケートを実施した。アンケートの結果,「学級の歌をつくる」「学級レクを行う」「集会をする」「自然教室や北九州見学を成功させる」という意見があった。そこで,計画委員会を開き,「学級レク」は遊び係に任せること(週に2回程度,遊ぶ日を設けた),「学級の歌をつくる」「集会をする」は話し合いを行う,「自然教室や北九州見学を成功させる」は実行委員を組織して取り組むことを決めた。そして,「笑顔いっぱいプロジェクト」と活動に題をつけ,「学級の歌」については話し合っている。

2学期の学級開きで2学期の行事の予定を確認し,自然教室や北九州見学など校外での学習が増えるので,学校で学習したことや経験したことを生活に生かしていくことを2学期の重点にした。そこで,学習係から「学習や経験を生かしたことを伝える集会がしたい」と提案され,「何でもチャレンジ,笑顔いっぱい集会をしよう」と議題化されたものである。

集会に保護者に参加してもらうことで,自分達は保護者に見守られているという気持ちをもつことができ,感謝の気持ちに気付くことができると考える。また,保護者との交流が家庭での児童への声かけや支援につながると考える。さらに,夏休みのクッキング教室や自然教室での野外調理をふり返ることで,食べることの喜びや楽しさを感じ,食事を通した人間形成能力を身につけるうえからも,本活動は重要な意義をもつものと考ええる。

本学級は1学期に7回の学級会を経験している。児童会からおりてきた議題だけではなく,教師や子どもから出た議題についても話し合った(「係」「1学期のお楽しみ集会」)。選択型・統合型の話し合いの経験をしている。学級会の経験が少ない子どもが多かったが,経験をくり返すことにより,学級会の進め方は理解し始めている。また,自分の考えをもち,発表する姿が少しずつ見られるようになってきているが,場面を考えて発言したり,めあてに沿って自分の考えを発言したりする姿は少ない。

食に関するアンケートを実施し,「給食は好きですか」という質問に対して77%の子どもが「大好き」「好き」と答えおり,理由の一位が「おいしい給食が食べられるから」である。「みんなと食べる」「先生と食べる」という人間関係が内容になっている理由の人数は少ない。給食の完食率について,おかずは完食することが多い,しかしパンやご飯は完食率が低い。さらに,朝ご飯に関しては,食べないことが多い子どもが数名で固定化している。本活動を通して,食材やお世話になっている人々への感謝し,残さずに食べる子どもを増やし,給食の完食率を上げたい。また,「みんなと食べるのが楽しい」という気持ちをもたせたい。

本活動にあたって,事前では,2学期初めの学級目標の達成に近づくために学級で取り組めることはないかのアンケートをふり返り,議題を募集する。その後,議題を選定し,「こんなことできたよ,笑顔いっぱい集会」をすることをクラス全員に知らせる。そして,実行委員を組織し,プログラムの原案を準備させる。

事中では,プログラムについての付加修正を行う。プログラムには,9月に話し合っつくった学級の歌や記念撮影などをプログラムに付け加えさせたい。そこで,「クラス全員でできる内容」というめあてで,話し合いを行う。また,集会を盛り上げるために,発表のしかたのアイデアを募集する。

事後では、学校での学習や経験をどのように生かしたかアンケートをとり、そのアンケートをもとにグループわけをする。事中的の発表のしかたのアイデアをふり返り、発表のしかたをグループで決め、準備を行う。保護者との交流をもつために、保護者を集会に招待して感想を聞いたり、保護者に発表の中に入れてもらったりして、「何でもチャレンジ、笑顔いっぱい集会」を開く。本時の前の週に学校行事に参加した保護者が多いので、当日、参加できない保護者もいるであろう。そこで、学級通信に集会の内容を掲載し参加できなかった保護者に知らせる。また、学級通信に返信欄をつけ、保護者からの感想や報告以外の児童のがんばりを聞くことで、連携を強めていきたい。さらに、活動の記録を掲示しておくことで、児童に次回の学級活動への意欲をもたせたい。

### 3 目標

学校での学習や経験を生活に生かすことの交流を計画・実行することで達成感や満足感をもち、学年の友達や家族の大切さに気付くことができる。 (興味・関心・意欲)

学級目標や提案理由、めあてと結びつけながら、よりよい考えを生み出すことができる。(思考・判断)  
一人ひとりの創意工夫を生かしながら話し合い、自分の役割を果たして協力して学級集会ができる。

(技能・表現)

学級集会の計画の立て方、役割がわかる。

(知識・理解)

### 4 食育の視点

日常の食事に興味・関心をもつことができる。(食事の重要性)

食事に関わる人々や友達に感謝の気持ちをもつことができる。(感謝の心)

楽しく食事をするのが、豊かな食生活につながる事がわかる。(社会性)

### 5 活動計画

過程	学習活動と内容	指導上の留意点( ) 評価( )	日時
事前	(1)学級目標に近づくために、学級でできることを考え、カードに書く。 (全員)	1学期の活動を振り返り、2学期の予定を知らせる。	9月2日 帰りの会
	(2)カードをもとに、議題を決定し、全員にお知らせする。(計画委員会)	「学級会で話し合う」「係にお願いする」「先生にお願いする」「代表委員会のポストに入れる」の4つの視点で議題を選定させる。	9月30日 朝の会
	(3)計画委員会を開き、めあてや話し合いの柱を決める。	話し合う内容を確認する。	9月30日 中休み
	(4)実行委員をつくり、プログラムの原案を準備する。(実行委員)	1学期の集会のプログラムをもとに考えさせる。	9月30日 昼休み
	(5)自分の考えを個人ノートに書く。 (全員)	学級目標とのつながりやその活動を行うよさについて考える。	10月1日 朝の会
	(6)学級会のリハーサルを行う。 (計画委員会)	提案理由やめあてに沿って、考えさせる。 一人ひとりの役割をはっきりさせる。	10月2日 昼休み
事中	議題「何でもチャレンジ、笑顔いっぱい集会について話し合おう。」(プログラムにつ	提案理由やめあてをもとに、原案の付加修正を行う。	10月2日 学級会

	<p>いての付加・修正と報告の仕方のアイデア についての話し合い)</p> <p>(1) はじめの言葉</p> <p>(2) 議題と提案理由の確認</p> <p>議題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>何でもチャレンジ, 笑顔いっぱい集会 について話し合おう。</p> </div> <p>提案理由</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今, 一人一人が学習や経験を生かして いるので, その報告会をして, 何でも チャレンジし, 笑顔いっぱいのクラス にしたいから。</p> </div> <p>(3) めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>クラス全員でできる内容を付け加え, 報告を盛り上げる報告の仕方を考え よう。</p> </div> <p>(4) 先生の話</p> <p>(5) 話し合い</p> <p>柱1: プログラムについて</p> <p>柱2: 発表の方法について</p> <p>(6) 決まったことの確認</p> <p>(7) 話し合いの振り返り</p> <p>(8) 先生の話</p> <p>(9) 終わりの言葉</p>	<p>大きな声であいさつや紹介ができる ようにリハーサルで声かけをしておく。</p> <p>提案理由, めあての大切な部分をライ ンを引いて強調する。</p> <p>事前に学級会個人ノートに考えを書 かせ, コメントをつけるなど賞賛し, 発 表への意欲をもたせる。</p> <p>自分の考えをわかりやすく説明する ことができる。</p> <p>子どもの意見を一覧表にまとめ, 司会 グループにも渡しておく。</p> <p>学級目標に近づくために, みんなで取 り組めるプログラム内容を考えている。</p> <p>黒板記録の子にはっきりと大きな声 で言うようにリハーサルで声かけをし ておく。</p> <p>実践に向けて意欲を高めるために, 事 後の活動の流れを確認する。</p>	
<p>事後</p> <p>(本時)</p>	<p>(1) 学校での学習や経験をどのように生 かしたかアンケートをとり, グルー プわけをする。</p> <p>(2) 役割分担をし, 集会の準備をする。</p> <p>(3) 「こんなことできたよ集会」を開く。</p> <p>(4) 活動を振り返る。</p>	<p>5年生になってからの, 取り組みを考 えさせる。</p> <p>計画的に進められるように時間や場 所を確保する。</p> <p>活動でお世話になった方に感謝の気 持ちをもつことができる。</p> <p>学年の友達のがんばりに気付くこと ができる。</p>	<p>10月20日</p> <p>10月21日 ~24日 休み時間</p> <p>10月28日 学級集会</p> <p>10月29日 学級タイム</p>

## 6 本時の目標

これまでの経験を生かしながら, 自分の役割を考え, 実践することができる。 (思考・判断)

自分の考えわかりやすく説明したり, 友達のよさを認めたりし, 満足感のもてる活動にすることができる。 (技能・表現)

7 本時の展開（平成20年10月28日（火）5校時 於：教室）

学級活動	指導上の留意点（ ） 評価（ ）
1 はじめの言葉	実行委員を組織し，リハーサルを行う。大きな声で言えるようにリハーサルで助言しておく。
2 先生の話	集会への経緯や児童の取り組みを確認する。また，保護者の参加を知らせる。
3 クラスの歌	朝の会や帰りの会など歌を歌う機会を設ける。
4 報告会 家庭科の学習 家庭科以外の教科の学習 夏休みのクッキング教室 自然教室での野外調理	事前にアンケートをとり，グループ分けしておく。そのグループで，事途中での話し合いをもとに発表の準備をさせておく。保護者の協力が得られる場合は，発表の手伝いをお願いする。 自分の役割を実践しているか。 自分の考えをわかりやすく説明しているか。
5 感想カードの記入	友達のよさを見つけているか。
6 お家の方にインタビュー	事前に学級通信で保護者に知らせておく。保護者への学級委員さんをお願いする。児童のがんばりを賞賛してもらい，今後の活動への期待を話してもらおう。
7 クラスの歌	朝の会や帰りの会など歌を歌う機会を設ける。
8 先生の話	いろんなところで学習や経験を生かしていることを賞賛する。そして，集会後も，学習や経験を生かすことに意欲をもたせる。自然教室では全員，学習や経験をいかしていることを確認する。
9 記念撮影	実行委員を組織し，リハーサルを行う。大きな声で言えるようにリハーサルで助言しておく。
10 終わりの言葉	

8 評価

(1) 学級活動から

学校での学習や経験を生活に生かすことの交流を計画・実行することで達成感や満足感をもち，学年の友達や家族の大切さに気付くことができたか。(興味・関心・意欲)

学級目標や提案理由，めあてと結びつけながら，よりよい考えを生み出すことができたか。

(思考・判断)

一人ひとりの創意工夫を生かしながら話し合い，自分の役割を果たして協力して学級集会ができたか。

(技能・表現)

学級集会の計画の立て方，役割がわかったか。

(知識・理解)

(2) 食育の視点から

日常の食事に興味・関心をもつことができたか。(食事の重要性)

食事に関わる人々や友達に感謝の気持ちをもつことができたか。(感謝の心)

楽しく食事をするのが，豊かな食生活につながるということがわかったか。(社会性)